

令和6年度決算に係る事務事業に対する提言

番号	事務事業名	所管常任委員会	今後の方針	事務事業に対する提言
1	「未来を拓く！」府中市学力向上事業	総務文教	一部見直しのうえ継続すべき	<p>府中市学力調査活用事業については、生徒の学力及び心の状況の実態を把握し、エビデンスに基づいた課題分析や課題解決策を具体的に示すことを目標として掲げており、状況の把握やそのデータを基にした教職員協働研修への活用部分は評価できる。しかし、学力向上については具体的な成果が十分に確認できないため、効果的な授業や評価のあり方などを検討されたい。</p> <p>ALTの全校配置については、意識調査の数値を見ても概ね良好ではあるが、英語力の向上については成果が十分に確認できないため、その取り組みを強化されたい。</p> <p>学習指導員の配置については、教員免許を有する人材の確保が難しいという現状は理解できる。しかし、免許を有しない人材であっても教員をサポートする役割を担う教員業務支援員などとして有効に活用することで、教育効果を向上させることが考えられる。よって、見直しを行った上で進められたい。</p>
2	府中市子供の学び応援基金	総務文教	一部見直しのうえ継続すべき	<p>子どもたちの「挑戦」を応援する事業として一定の評価ができる。しかし、会計処理の適正化や透明性、事業を活用した際の現場教職員等への負担、さらに各校で事情が異なることによる活用の格差などの課題が見受けられる。また、指標や目標値などが示されておらず、事業評価が困難であるため、評価できるよう改善すべきである。</p> <p>以上を踏まえて、課題となっていることを一つ一つ丁寧に検証し、改善を図ることを求める。</p>

令和6年度決算に係る事務事業に対する提言

番号	事務事業名	所管常任委員会	今後の方針	事務事業に対する提言
3	市民協働のまちづくり事業	総務文教	一部見直しのうえ継続すべき	<p>町内会ニーズと新たな協働の担い手マッチング事業については、目標値を達成し、成果も出ているが、その波及が一部の企業のみでなく、幅広い対象へ届くよう、取り組みの強化を求める。また、町内会や地域支援活動の担い手不足については喫緊の課題であるため、所管課にて課題解決に向けた取り組みの強化を求める。</p> <p>協働のまちづくり活動補助事業については、申請件数が少なかったため、改めて事業内容の周知や活用事例の提示を行い、さらなる活用強化の取り組みを図るべきである。</p> <p>外国人との共生推進事業については、周知不足により外国人や地域住民の参加や交流が十分ではないため、広報の充実を求める。また、その他の多くの課題についても検証を行い、課題の改善を図ることを求める。</p> <p>移住定住促進事業と人材確保の模索については、少数ながら移住者を迎えることができている。しかし、目標値の未達成や費用対効果を考慮すると、取組項目を改め、一層の移住定住促進を図ることを求める。</p>
4	スポーツを活用した賑わいの創出	総務文教	一部見直しのうえ継続すべき	<p>施設の活用促進を図る取り組みや地域への波及効果につながる施策が必要である。S P I N G L E ウェルネスセンターについては、府中駅周辺エリア、T T C スポーツパーク上下については、グラウンド周辺を含む上下町エリアの賑わい創出の取り組みを強化すべきである。</p> <p>そのためには、所管課を含めた組織全体で横断的に施策を検討し、事業を展開することを求める。</p>

令和6年度決算に係る事務事業に対する提言

番号	事務事業名	所管常任委員会	今後の方針	事務事業に対する提言
5	デジタル窓口・市役所庁舎窓口整備事業	総務文教	抜本的見直しのうえ継続すべき	<p>費用対効果や有効性を考慮すると評価は低く、休止を検討していく必要性はある。ただし、ＩＣＴの導入による本庁と庁外拠点とのサービス均質化などによる利便性の向上や行政組織の効率化・生産性向上を図るために必要な事業である。</p> <p>バックヤード改革や業務プロセスの見直しを含め、課題となっている事項を改めて検証し、デジタル窓口及び市役所庁舎窓口の整備を進めることを求める。</p>
6	保育料無償化	厚生	一部見直しのうえ継続すべき	<p>市民ニーズが高く、子育て環境改善に直結する妥当性の高い事業である。しかし、単市としての財政負担は大きく、持続可能性の観点からも、国に負担を求める形での継続が必要である。また、今後は、事業目的である、子育て世帯の増加（転入促進・転出抑制・子どもの人口増）に対する効果検証方法を早急に検討していただき、柔軟な見直しを行っていただきたい。</p>
7	救急相談センター（#7119）事業	厚生	一部見直しのうえ継続すべき	<p>救急相談センター（#7119）事業は、救急車の適正利用と医療資源の効率的活用に資する重要な事業であり、今後はさらなる周知徹底により、市民への認知度の向上を図られたい。</p>

令和6年度決算に係る事務事業に対する提言

番号	事務事業名	所管常任委員会	今後の方針	事務事業に対する提言
8	力強い産業の実現	建設産業	抜本的な見直しのうえ継続すべき	産業連係室は市内企業の強み・弱みをしっかりと把握し、産業構造変革に対応可能な体制となるよう抜本的に見直すべき。販路開拓や人材確保支援事業については実施効果の検証を進め、多様な業種や参加者のニーズを反映した継続的な活動を強化し、企業誘致も積極的に展開されたい。
9	農業振興ビジョンの実現に向けて	建設産業	一部見直しのうえ継続すべき	農業の担い手不足と高齢化への対応を重点課題とし、農業振興の事業を継続・拡充が必要。新規就農者確保には地域おこし協力隊の活用が有効だと考える。農業の魅力発信とブランディングデザインを明確に示し、持続可能な次世代農業を推進されたい。
10	駅南エリアを中心とした賑わいづくり(駅周辺整備)	建設産業	一部見直しのうえ継続すべき	出口川の河川空間整備事業については、広島県と緊密に連携し、借地部分や河川内工事を分離・見直した上で適切な形状への計画策定を進めること。また、府中駅南北通路設置については、進捗状況と課題を明確に説明し、市民サービスの向上と駅南エリアの活性化に寄与する取り組みを強化すること。
11	駅南エリアを中心とした賑わいづくり(i-coreFUCHU)	建設産業	一部見直しのうえ継続すべき	i-coreFUCHU 第3期整備計画については、簡易会議室等が設置できるよう整備を検討していただきたい。また、維持管理費の抑制を継続しつつ、幅広い世代が楽しめる施設を目指していただきたい。さらに、都市再生整備計画の第4期の早期提示も期待する。

令和6年度決算に係る事務事業に対する提言

番号	事務事業名	所管常任委員会	今後の方針性	事務事業に対する提言
1 2	食の魅力発信(恋しき)	建設産業	抜本的な見直しのうえ継続すべき	恋しき管理運営事業は、抜本的な見直しを求め、直営や民間委託のあり方の検討を望む。また、食の魅力発信事業については効果を精査し、今後の事業については、内容及び予算を明確に示し、計画的な運営執行をされたい。
1 3	浸水対策事業	建設産業	一部見直しのうえ継続すべき	ポンプ排水事業は継続が必要と考えるが、地元住民の意見を反映することや排水の影響を事前にシミュレーションする必要がある。また、排水場所上流の河川堤防のかさ上げについて、県へ要望するとともに、ポンプ設備の容量についても見直すべきである。さらに、ハード整備に加え、避難訓練や情報提供などソフト面の強化を図られたい。